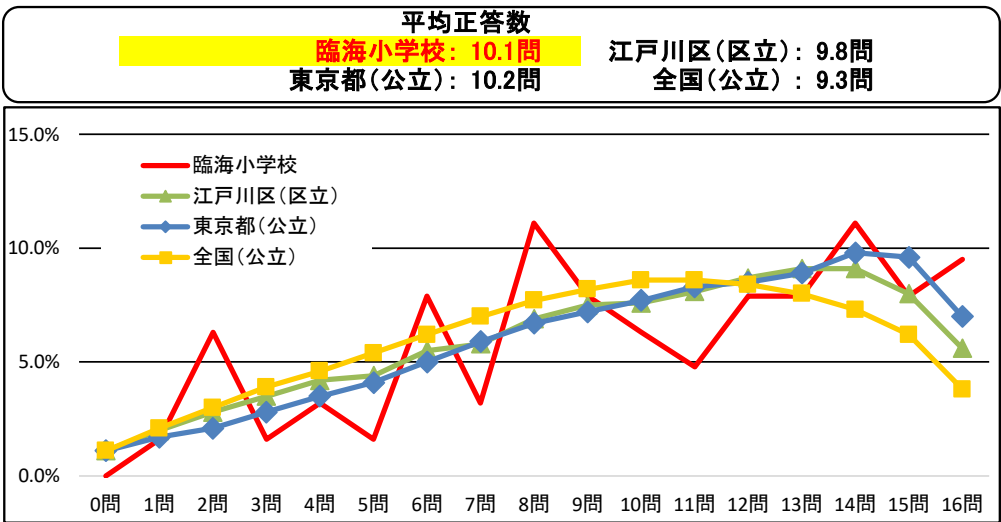
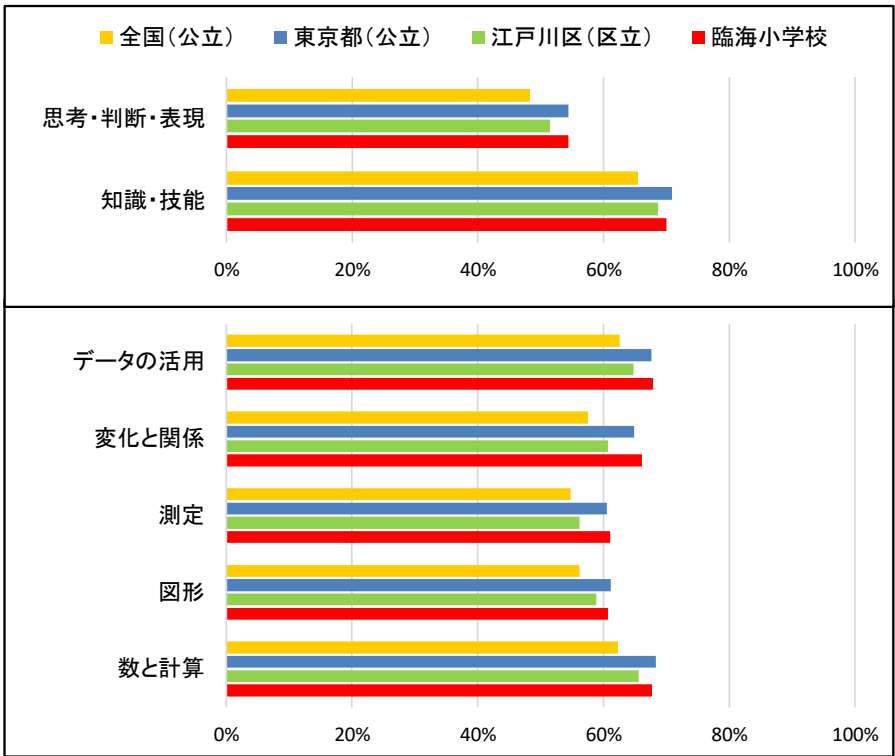


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【算数】江戸川区立臨海小学校

正 答 数 分 布



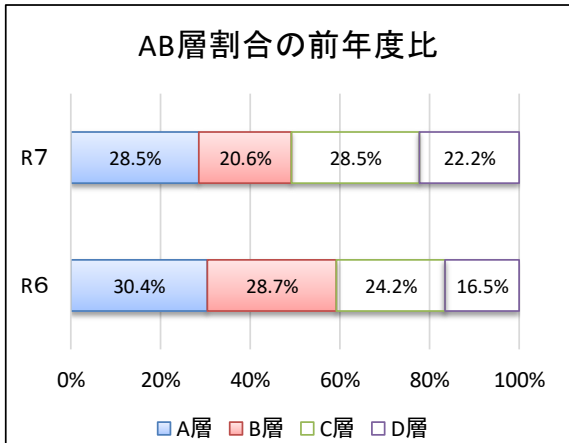
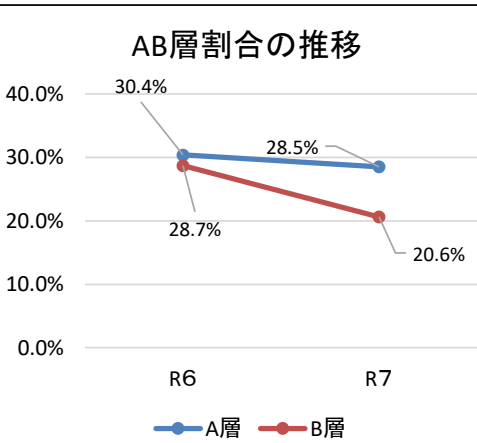
「領域別」の結果



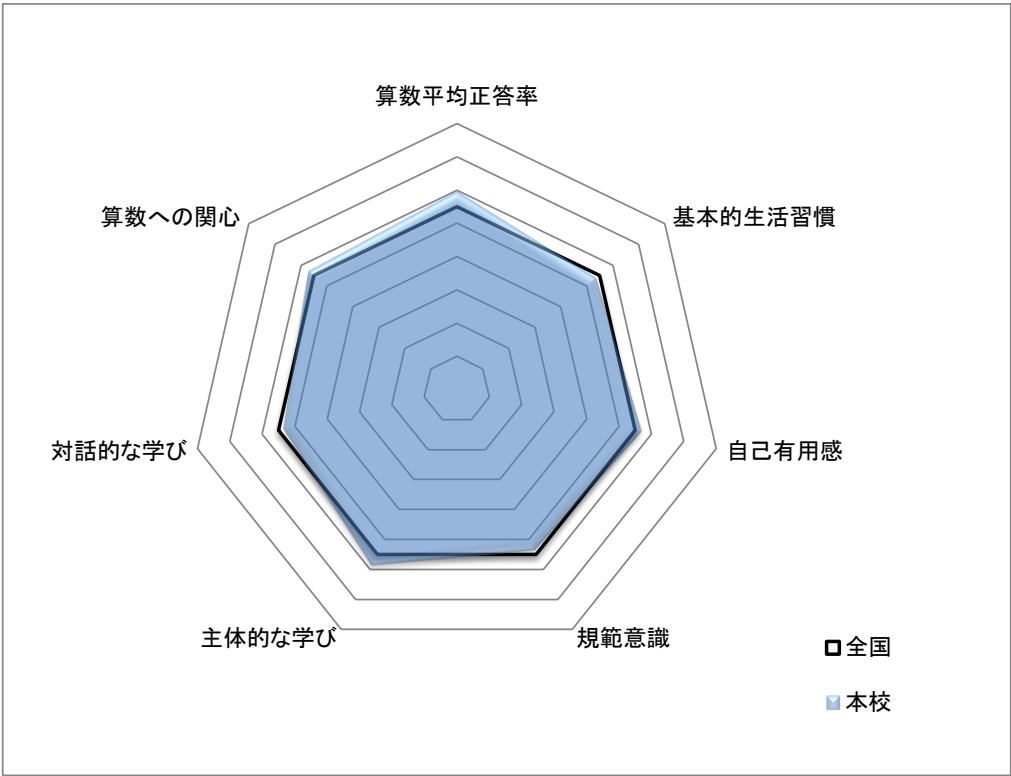
四 分 位 に お け る 割 合 (都 全 体 の 四 分 位 に よ る)

算 数	上位 ← → 下位			
	A層 14～16問	B層 11～13問	C層 7～10問	D層 0～6問
臨海小学校	28.5%	20.6%	28.5%	22.2%
江戸川区(区立)	22.7%	25.9%	27.9%	23.5%
東京都(公立)	26.4%	25.7%	27.6%	20.3%
全国(公立)	17.3%	25.0%	31.4%	26.3%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。



各 領 域 に お け る 、 全 国 平 均 正 答 率 及 び 、 全 国 の 肯 定 的 回 答 合 計 値 を 基 準 と し た 場 合 の 、 本 校 の 様 子 。



《チャートの特徴》

・今年度の学力調査の結果から算数の平均正答率を全国と比較すると全国が58%、本校が63%で、本校が全国を5%上回った。基礎的基本的な学力が身に付き、意欲的かつ主体的に学びをすすめていることが分かる。

《家庭・地域への働きかけ》

・学力調査の結果から個々の学習状況を把握し、個別の「学習カルテ」を通して、習熟が不十分な部分について放課後学習教室「EDOスク」を活用し、補充学習を進める。
・家庭に情報を提供し、連携を図る。
・学校ホームページを活用し、結果や学校での取り組みを公表し協力を仰ぐ。

《現状把握》

●AB層の割合と取組内容について
・本校のAB層の割合は、A層が28.5%、B層が20.6%で、AB層合わせて49.1%とほぼ半数をAB層が担っており、全国平均値を6.8%上回った。領域別に見ても全領域において、全国の平均正答率を上回っている。知識・技能や思考・判断・表現では、全国を上回るだけでなく都の平均正答率とほぼ同等で、基礎的な知識や技能を確実に習得しており、問題解決や表現に応用できる力も付いていることが分かる。

《学校の取組》

・教員の指導力向上
・算数の授業において、効果的な「習熟度別指導」を行う。
・校内研究を通して、授業力向上に努め研鑽を積む。
・個別最適・協働的な学びを進めるための視覚的に捉えやすい「ICTの活用」を行う。

・基礎学力の保障

・年3回の区学力定着度調査の結果から「学習カルテ」を作成し、習熟が不十分な部分について補充学習を進める。
・放課後学習教室「EDOスク」を活用し、D層の底上げを図る。

・学習習慣の確立

・一人1台端末を使って、日常的に「ミライシード」を積極的に活用する。
・各学期に1回1週間ずつ「江戸川っ子study week!」を実施する。

・AB層の育成

・本校のAB層は、全領域において全国の平均正答率を上回っているが、「数と計算」「図形」については、都の平均値をわずかに下回っている。「数と計算」においては、分数の加法について単位分数を見いだせるようにすることや異分母の分数の加法の計算ができるようにする。「図形」においては、平行四辺形の性質を基にコンパスを用いて作図する学習に重点を置く。